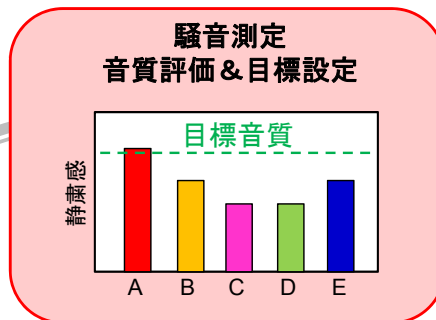
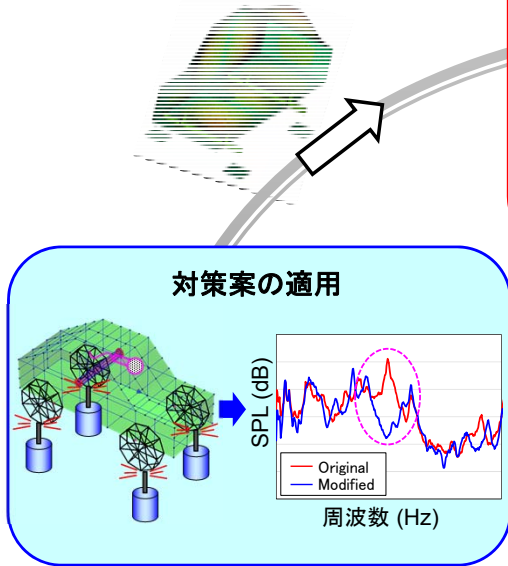


製品の振動・騒音を改善する技術

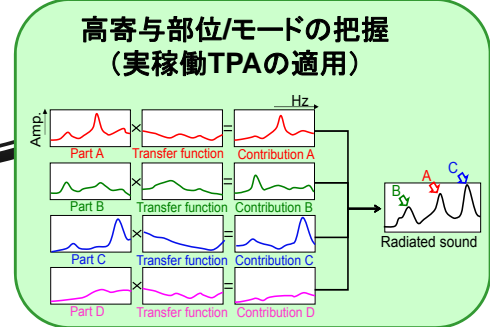
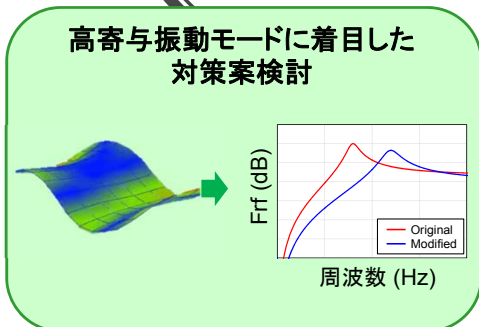
研究対象

振動・騒音改善に必要な技術としては、低減技術が第一に考えられます。しかし振動や音のエネルギーは小さくても不快に感じられる場合もあります。また振動・騒音改善では製品が本来有する機能を低下させない対策が望まれます。そのため本研究室では、人にとって不快でない音や振動を探索する技術(評価技術)、騒音や振動の発生要因を探索する技術(解析技術)、シミュレーションや実験を用い効果的に振動・騒音を低減する技術(対策技術)等、製品の振動・騒音をトータルに改善するために必要な技術を開発しています。

シミュレーションと実験による低減 (対策技術)



振動、騒音性と人の感覚をつなげる (評価技術)



振動・騒音のメカニズムを特定する技術 (解析技術)